

平成29年12月14日（木）  
（公財）石川県埋蔵文化財センター  
担当：調査部特定事業調査グループ  
G L 松山 和彦  
電話：076-229-4477

## 加賀市八日市遺跡における<sup>ようかいち</sup>鑄造工場の保存について

石川県教育委員会が公益財団法人石川県埋蔵文化財センターに委託して発掘調査を進めている、加賀市八日市遺跡において、古墳時代の青銅器鑄造工場を確認しました。

つきましては、この重要な遺構を保存するため、下記のとおり保存作業を実施いたします。

### 記

#### 1 所在地等

- (1) 調査地 加賀市八日市町地内
- (2) 調査原因 北陸新幹線建設工事
- (3) 調査主体 石川県教育委員会  
調査担当：公益財団法人石川県埋蔵文化財センター
- (4) 調査期間 平成29年6月～平成30年1月（予定）
- (5) 調査面積 3, 290 m<sup>2</sup>

#### 2 保存作業の公開

- (1) 期 間 平成29年12月18日（月）～20日（水）  
作業の公開開始は18日午後1時から（小雨実施）  
\*八日市遺跡現場携帯：080-2959-9224
- (2) 場 所 加賀市八日市町地内（別添地図参照）
- (3) 内 容 青銅器鑄造工場の炉跡群の切り取り保存作業  
（作業の詳細・日程は後掲の4（3）のとおり）

#### 3 鑄造工場の概要と意義

八日市遺跡は、JR 加賀温泉駅の東約 1.8 km、柴山湯へ流れ込む八日市川右岸の低地に立地する古墳時代前期（約 1,700 年前）の集落跡であり、現在、北陸新幹線建設工事に伴い発掘調査を実施している。

これまでの調査の結果、<sup>たてあなたてももの</sup>竪穴建物 12 棟、<sup>ほったてばしらたてももの</sup>掘立柱建物 11 棟などのほか、井戸や川跡も確認した。中でも、古墳時代前期中葉（約 1,700 年前）の竪穴建物の床面で、7 基の炉跡が確認され、直径約 50 cm のものが 1 基、約 20 cm 大の小型のものが 6 基あり、そのうち 5 基が建物の中央に集中している。いずれも炉本体は失われており、底面を残すのみとなっているが、極めて高い温度で熱

をうけていることが分かる。

この建物からは、銅鑊<sup>どうぞく</sup>の未完成品2点のほか、炉壁<sup>ろへき</sup>やフイゴ、鑄型<sup>いがた</sup>とみられる破片、砥石<sup>あらと</sup>（荒砥<sup>しあげと</sup>・仕上砥）などが出土しており、この建物が青銅器を鑄造・生産した工房であったと考えられる。

こうした炉跡を伴う鑄造遺構は、弥生時代から認められるが、極めて少なく、中でも古墳時代のものとしては全国初の確認例となる。

八日市遺跡は、素材の入手から製品の流通までを掌握する首長<sup>しゅちやう</sup>のもとで、金属器の生産・加工を行っていた工房集落であったと考えられ、今回の発見は、当時の鑄造技術や地方生産の実態を知るうえで重要な発見である。

#### 4 遺構の切り取り保存作業

発見された炉跡は、学術上価値が高く、今後、鑄造関連遺構の調査においても参考になるものであり、今回、その主要部分を切り取り、保存することとした。

- |            |   |
|------------|---|
| (1) 切り取り遺構 | 竪穴建物内の炉跡5基（150×140 cmの範囲）   |
| (2) 日 程    | 12月18日（月）～20日（水）  |
| (3) 現地作業手順 | ①切り取り遺構周囲の掘り下げ<br>（18日：午後1～4時予定）<br>②発泡ウレタンの吹き付けによる遺構保護<br>（18日：午後1～4時予定）<br>③単管パイプ等を底面に差し込み地盤から切り離し<br>（19日：午前9時～午後4時予定）<br>④ <u>クレーンで吊り上げ運搬車に積載</u><br>（20日：午前9時～午後12時予定） |
| (4) 後 処 理  | 切り取った遺構は保存処理を施し、平成30年の秋以降に県埋蔵文化財センターで公開を予定  |

#### 《コメンテーター》

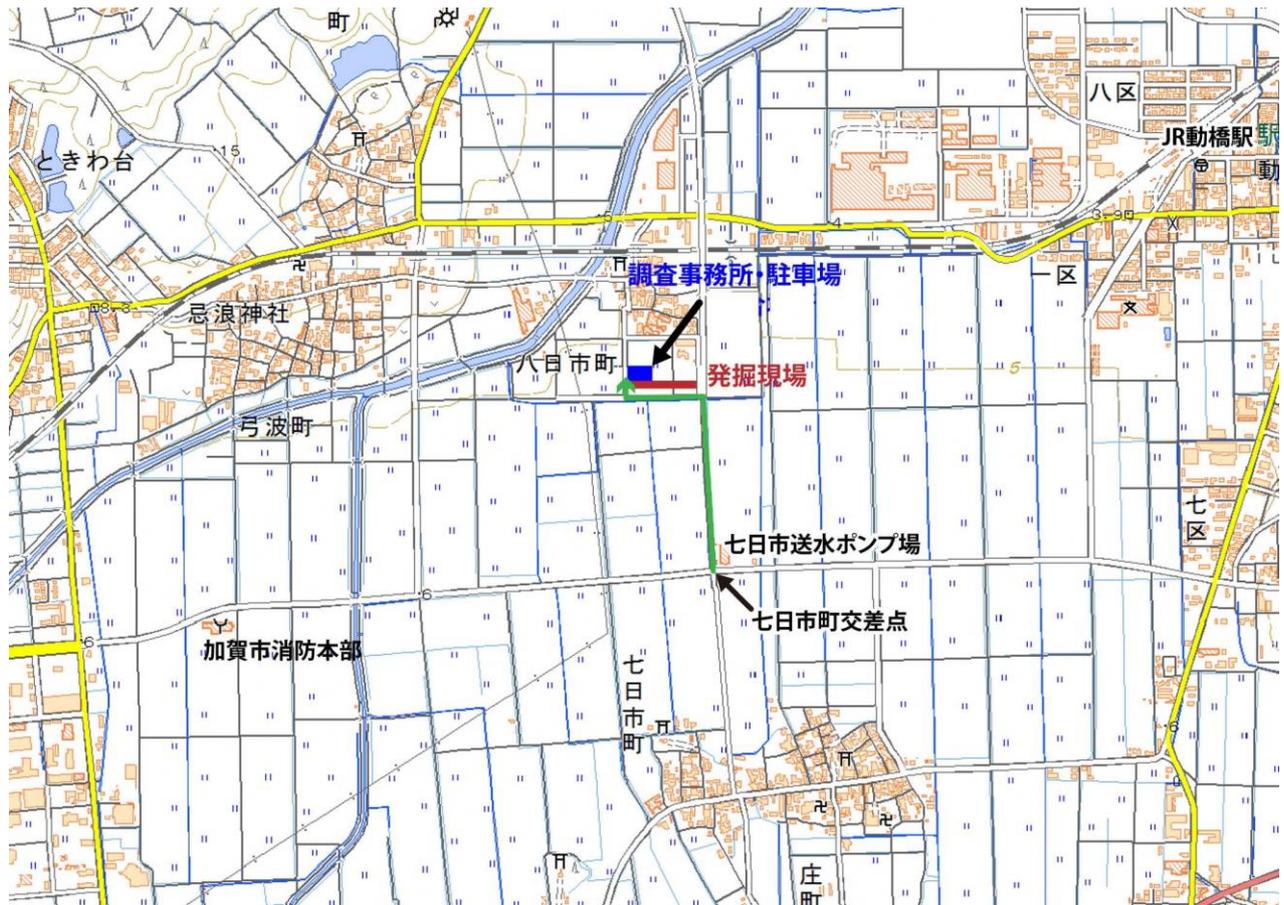
田尻 義了（たじり よしのり）

所属機関：九州大学アジア埋蔵文化財研究センター准教授

専門分野：東アジア考古学（とくに青銅器の研究）

研究室 092-802-5643 携帯 090-3357-2320

（※12月15日（金）18時以降対応可能）



八日市遺跡案内図



1 ~ 7は炉跡（破線は切り取り保存範囲）



1 ~ 3号炉跡



2号炉跡（直径約 20 cm）



6号炉跡（直径約 50 cm）



### 鑄造関連遺物 1

(1～4はフイゴ羽口、5～7は鑄型、8、9は銅鋏)



### 鑄造関連遺物 2

(砥石： 1・2は荒砥、3～5仕上砥)